

三重病院での研究成果を海外で発表

今年6月6日から10日にスペインのバルセロナで欧州アレルギー・臨床免疫学会が開催されました。今回、三重病院の患者様にご協力いただき得られた研究成果を現地で発表してきました。発表した内容は、アトピー性皮膚炎の症状の強さや治療効果を判定するのに役立つのではないかと期待されている新しい血液検査(ペリオスチン、SCCA1、SCCA2)に関するものです。研究の方法は、まずアレルギーがないかまたは軽度の方のデータから正常値や年齢による変化などを解析しました。そして、重症のアトピー性皮膚炎で入院治療をした患者様のデータから、実際の症状や治療効果との関連を解析しました。その結果、SCCA2という検査はアトピー性皮膚炎の症状や治療による変化をよく反映していることが分かりました。このような成果を海外の方にも知ってもらうため発表に臨みました。慣れない英語での発表ということもありかなり緊張しましたが、「成果を伝える」ということに専念し発表しました。発表後いくつか内容に関する質問をいただき、海外の方にも興味を持っていただけたと思います。今後も海外で発表できるような成果



をこの三重病院から発信できるよう取り組んでいこうと思います。

ここで、発表を行ったバルセロナの感想もひとこと。バルセロナはスペイン北東部に位置する地中海に面した都市で、建築家ガウディが育った街として有名です。滞在中は空いた時間に街を散策したり、教会を観に行ったりして過ごしました。印象に残ったのはやはりサグラダ・ファミリアでした。大きな建築なのですが外観や内部が繊細に造られていて、その美しさには本当に心打られました。未完成でまだ工事もしていましたが2020年に完成予定だそうです。また郊外にあるコロニア・グエル教会も印象的でした。ガウディの最高傑作といわれる教会ですが、こちらは観光客もまばらで静かで小さな教会でした。建物や柱の曲線がきれいでとても居心地のいい場所でした。バルセロナの街は活気に満ちていて人はみな陽気で親切です。また訪れたいくなる魅力的な街でした。人の魅力、町並みの魅力、カタルーニャ文化の魅力のつまったバルセロナを是非訪れて感じてみてはいかがでしょうか。

(アレルギー科 平山 淳也)

平山先生、三重病院を背負っての発表ご苦労様でした。桑原先生との2人旅、リラックスできましたか？



5病棟の生活のひとコマ 4

誕生会! 夏祭り! 夏は行事がいっぱい!

5病棟(重症心身障がい児者病棟)の夏は、行事が盛りだくさん!! 7月と8月もボランティアの皆さんのご協力により、ステキな誕生会になりました。7月は「コーラスてらやま」の皆さんが、キレイな歌声を披露して下さいました。「花は咲く」「さそり座の女」等、思わず口ずさんでしまう曲ばかり!! 患者さんたちも「コーラスてらやま」の皆さんを指さし、「この曲知っている!」とアピールしたり、「う〜」と大きな発声をして歌ったり、リズムを取るように腕を大きく左右に振ったりして、とても音楽を楽しんでいる様子が見られました。8月は三重大学の吹奏楽部の皆さんによる演奏会「小さな世界」「星条旗よ永遠なれ」「さんぽ」の曲に患者さんも身体を揺らして笑ったり、手や足でリズムを刻んだり…、とても楽しんでいる姿が見られました。



そして、夏一番の大きなイベント「夏まつり」には、白子高校吹奏楽部の皆さん(総勢77名)による

演奏パフォーマンス!! 楽曲も素敵でしたが、音に合わせてダンスをするパフォーマンスが大迫力! 今話題の妖怪ウォッチ「ジバニャン」「ウィスパー」も登場し、とても楽しい雰囲気、普段「ウトウト…」の患者さんも目を大きく見開き、音の方へ顔を向けたり、腕を上げて同じようなポーズをとったり…と、会場が一体となり、元気いっぱい活力あふれる行事になりました。終了後も、患者さんから「良かったな」「また、来るかな?」「すこかった!!」等の感想が聞かれ、とても楽しい時間を共有できたようです。



患者さんたちは、病院スタッフ以外の皆さんと触れ合う機会に乏しいです。今回のような高校生や大学生の皆さん、地域の方々と触れ合う機会がドキドキ・ワクワク・楽しみでいっぱいです。次回以降も、さまざまなボランティアの皆さんのご協力を得て、「楽しい」「嬉しい」思いをいっぺい共有したいと思っています♪(児童指導員 丸澤 由美子)